

次のうち推論の種類の一つである演繹的推論の例として妥当なのはどれか。

1. Aさんは、初めて訪れる国で、数人の陽気な人と話をして、「この国の人は陽気だ」と推論した。
2. B高校新聞部では、ランダムに選んだ50人の生徒に取材して得た情報をもとにして、生徒会長候補者の当落を推論した。
3. ある幼児が「おなかがすくと元気がなくなった」という経験から、「植物に水をあげないと枯れる」と推論した。
4. Cさんは「鉄は電気を通す」という法則を知っており、ある物体Xが鉄であることを知ると「物体Xは電気を通す」と推論した。
5. ある小学生が、生活経験で得た水圧と水流の関係に関する知識から、電圧と電流の関係について推論した。

正 答： 4

社会福祉法人に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 社会福祉法人の所轄庁は、行う事業が二つ以上の都道府県の区域にわたるものについては厚生労働大臣であるが、それ以外の場合はいずれも、主たる事務所が所在する市町村にかかわらず、主たる事務所の所在地の都道府県知事である。
2. 社会福祉法人は社会福祉事業のほかには、公益事業を行うことができるが、収益事業を行うことはできない。
3. 2017（平成29）年4月に施行された改正社会福祉法では、社会福祉法人は、監事を選任することが義務付けられたが、評議員会の設置は引き続き任意とされた。
4. 2017（平成29）年4月に施行された改正社会福祉法では、社会福祉法人のうち、純資産の額が事業の継続に必要な額を超えるものについては、社会福祉充実計画を作成し、所轄庁の承認を受けなければならなくなった。
5. 2017（平成29）年4月に施行された改正社会福祉法では、社会福祉法人は、定款、収支計算書、現況報告書を所轄庁に届け出ることが義務付けられたが、公表については努力義務とされた。

正 答：4

リッツァの「マクドナルド化」論に関する次の記述ア～オのうちには妥当なものが二つあるが、それらはどれか。

- ア. マクドナルド化とは、マクドナルドに代表されるファスト・フード店が世界中で店舗数を増やしている現象のことであり、専ら外食産業で起きている事態を表す概念である。
- イ. マクドナルド化が進むことで、同質的な人々が結び付く機械的連帯から、異質な他者が相互依存的に結び付く有機的連帯へと、人々の連帯のあり方が変化する。
- ウ. マクドナルド化が進む過程では、効率性を高めるために、合理化が徹底されていくが、そのことはときに非合理的な帰結をもたらす。
- エ. マクドナルド化が進むと、マニュアルに沿って働くのではなく、個々の従業員の自由な発想に基づく創造的な働き方が奨励される。
- オ. マクドナルド化の否定的な影響の一つは、それが顧客や従業員の脱人間化をもたらすことである。

- 1. ア, イ
- 2. ア, オ
- 3. イ, エ
- 4. ウ, エ
- 5. ウ, オ

正 答：5